

EUの構造的対話のプログラム

目的：EUにおける若者政策に関する政策対話のプロセスで、若者の意見反映の促進を目的とする

主な活動内容：18ヶ月の期間を1つのサイクルとして特定の大きなテーマを決め、その後、6ヶ月ごとにサブテーマを設定し、加盟国レベルで若者団体との意見交換を行う。そして6ヶ月ごとに公式会合（若者フォーラム等）を実施する。

EUの構造的対話のプログラム

サイクル	テーマ	議長国(6ヶ月交代)
① 2010年1月 ~ 2011年6月	若年失業	スペイン、ベルギー、 ハンガリー
② 2011年7月 ~ 2012年12月	若者参画	ポーランド、デンマー ク、キプロス
③ 2013年1月 ~ 2014年6月	社会的包摂	アイルランド、リトアニ ア、ギリシャ
④ 2014年7月 ~ 2015年12月	若者エンパワーメント	イタリア、ラトビア、ル クセンブルグ

ドイツ連邦若者協議会の事例



ドイツの若者団体の傘組織

— 連邦若者協議会 (National Youth Council) —

目的：全国の27の若者団体を統括する若者連合組織（600万人）で、**若者の意見集約をし**、国会や政府に彼らの利益代弁のための**ロビーイング**を行う。

加入基準：2万5千人以上の会員数の団体（スポーツ団体と政党青年部は入れない）

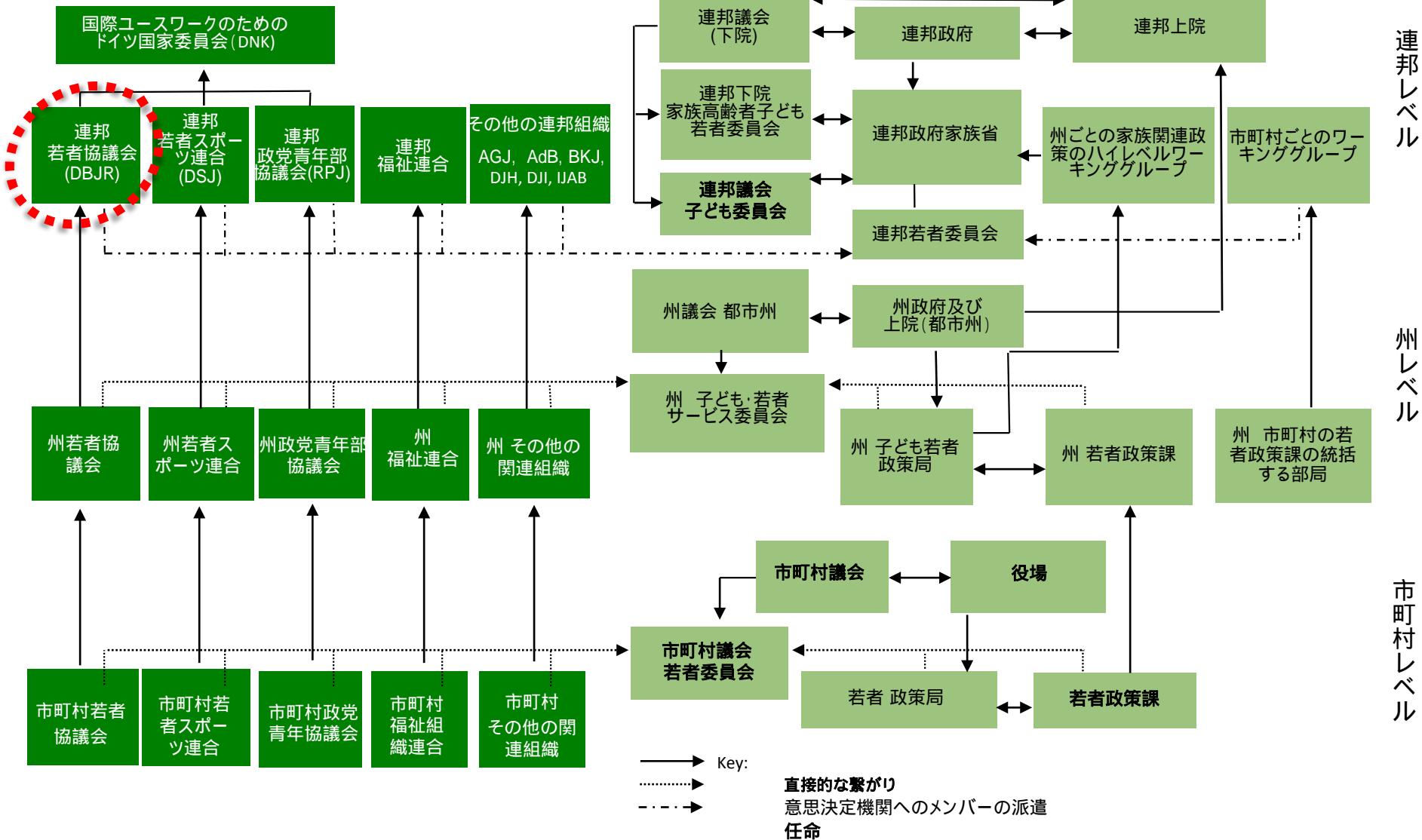
主な活動内容：

- 1) 若者の意見集約とロビーイング (EU/ドイツ)
- 2) 若者ボランティアの受け入れ先

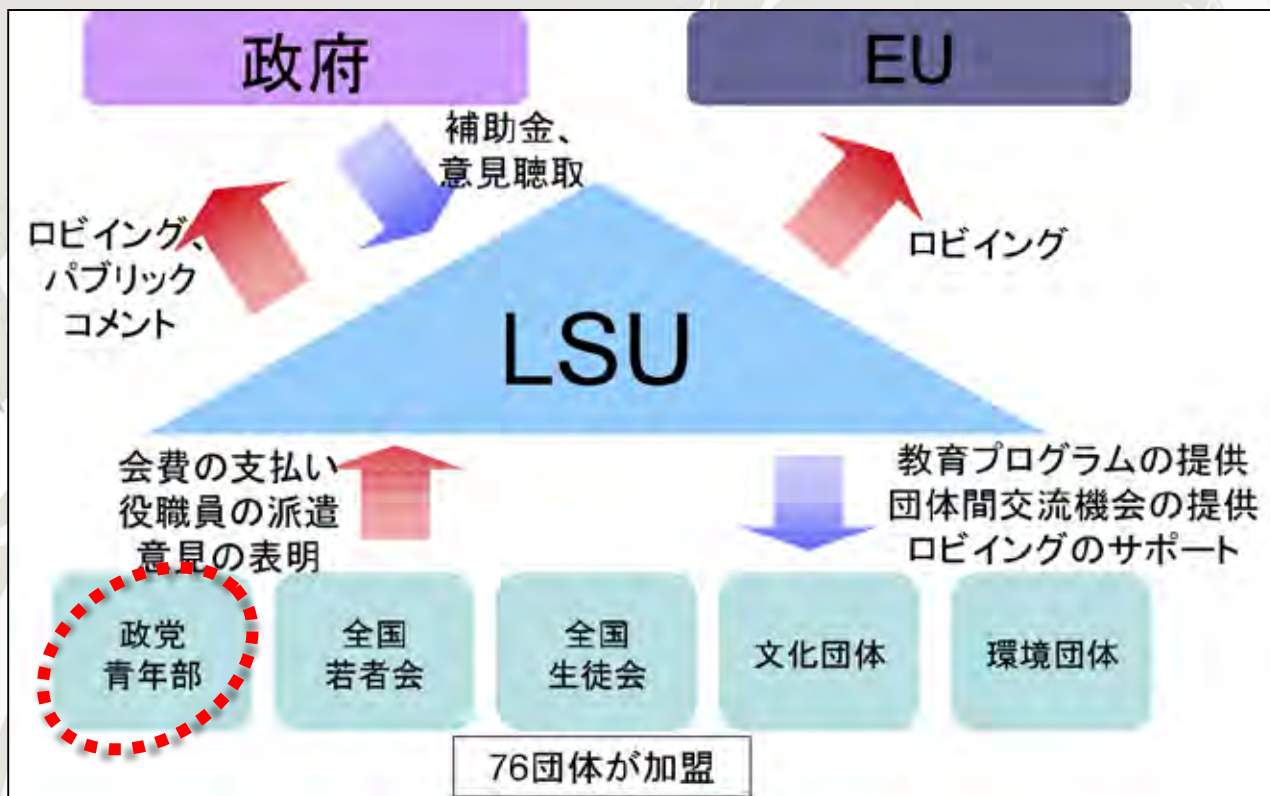
ドイツの子ども・若者政策に関する「参画枠組み」

準公的機関による子ども・若者政策推進

公的機関による子ども・若者政策推進



補足：スウェーデンの若者協議会との違い



スウェーデンでは、全国若者協議会(LSU)に
政党青年部の参加も認められている

若者協議会のロビーイング ーポジションペーパー作成ー

番号	タイトル	採択年
102	子ども・若者の健康増進	2014
101	”欧州”の開発	2013
100	若者政策ネットワークのためのベースライン	2013
99	社会法典第8編72条の変更	2013
98	若年失業との戦いードイツと欧州ー	2013
97	子ども・若者のための社会的包摂	2013
96	力強い福祉国家のために	2013
95	子ども・若者レポートに対する見解	2013
94	ボランティア活動の推進・強化	2013

ICTを活用したオンライン参画

「e-PARTOOL」：オンライン参画の推進ツール

「新しい若者政策」のコンサルテーションの一環として家族省が実施した社会実験で、ドイツ連邦若者協議会が受託し運営するプロジェクト

- 若者団体内/間の意見交換の推進
- 団体に属さない個人意見の収集



ICTを活用したオンライン参画

「e-PARTOOL」の利用手順

情報共有（テーマ）

質問（投げかけ）

意見表明

投票・集計

フィードバック

若者の意見反映！

The screenshot shows the homepage of the e-PARTOOL platform. At the top, there is a navigation bar with the slogan "WHAT WE WITH YOU MAKE" and a search bar containing "Suchbegriff...". Below this, the main heading "PARTICIPATION" is displayed in large, bold letters, accompanied by a "MIT WIRKUNG" badge. The central message reads "EFFECT >>> GO!" with the subtitle "From process to policy". On the left, there is a "REAKTION" banner over an image of a person holding colorful balloons. On the right, there are links for "Home ...>" and "SHARE". The bottom navigation bar includes several sections: "LEARN MORE", "QUESTIONS", "CONTRIBUTIONS" (with dates "from 11/02/2014 to 11/05/2014"), "VOTE" (with dates "from 05/20/2014 to 01/05/2014"), and "REACTIONS & EFFECT" (with the note "after the end of voting").

連邦若者協議会 / 州若者協議会 ーボランティアの推進ー

FSJプログラム：ドイツ全土で実施されるボランティアプログラムで、毎年10万人の若者が参加

プログラム分野：保育・幼稚園、老人ホーム、介護施設などの福祉分野から、教育や環境NGO、学校、若者団体、ユースクラブなど幅広い分野に派遣。

特長：若者の成長に繋がり将来の指針を与える。
(社会課題の解決とともに自身の**スキルアップ**！)

ベルリン州若者協議会の例 —FSJプログラム（2014）—

学校教育機関

受け入れ先団体

ベルリン州若者協議会
(FSJプログラム担当)

ボランティア

- 6つの若者団体
- 3つのセミナーセンター
- 学校ソーシャルワークセンター
- 2つのユースワーク団体
- 2つの若者支援団体

- 16—27歳以上の若者
特に教育者 / 教育学者志望
主な志望理由
- 将来の仕事の方向性
 - 必要な能力スキル
 - 自己形成

ベルリン州若者協議会

－ FSJプログラム（2014）－

応募：200人以上の応募から21人を選考

選考通過者：主に18～19歳以上で過去に若者団体の支援に関わったことのある若者

福利厚生：一週間に39時間の労働時間、一ヶ月間当たり300ユーロの手当および社会保険、1年間当たり30日間の休暇

特徴：1年間で25日間の研修セミナーを実施（5日間×5回のキャンプ）

ベルリン州若者協議会

ー FSJプログラム（2014）の具体例ー

例 若者団体でのボランティア

- セミナー：計画、実施、振り返り
- オフィス：調査や連絡作業、PR広報活動、理事会の準備
- プロジェクト：若者と政策決定者との対話会、若者団体会議、国際イベントへの参加

例 学校教育機関でのボランティア

- 計画・実施（シアターや援助グループ）
- 短期プロジェクト（学校内での庭の設置）
- 生徒のロビーイング支援（生徒会支援：応募書類作成）

ベルリン・パンコウ区



ベルリン・パンコウ区

パンコウ地区：ベルリンで最も先進的に子ども・若者の参画を進めている行政地区（人口37万人）

ステップバイステップアプローチ：小さいことから身近なことを決めることに関わり、年齢に応じて少しずつ政治的な話題を増やしていく（Jeanetteさん）

主なプログラム

- 1) 子どもフォーラム（子ども参画）
- 2) ユースジュリー（若者審査員）
- 3) U18（模擬選挙）

